

泊発電所の安全性向上への 取り組み

泊発電所では「世界最高水準の安全性」の実現に向かって、日々取り組んでいます。取り組み内容をご紹介しますとともに、皆さまのご意見を反映していくことで、さらなる安全性向上に繋げてまいります。

重大事故時を想定した、放射性物質拡散を防ぐための放水訓練

目次

1. 安全文化の 育成・維持 活動 【3ページ】

2. 安全性向上に向けた
コミュニケーション活動 【4ページ】

3. 世界最高水準の安全性を
目指した活動 【5ページ】

4. 保安規定遵守を徹底
していく活動 【6ページ】

5. 様々なリスクを抽出し適切に
対処する活動 【7,8,9ページ】

6. 訓練・教育の実施 【10,11ページ】

1. 安全文化の育成・維持活動

一人ひとりが安全最優先を常に意識して業務を行い、これを継続して様々な活動を実践していくことで安全に対する文化の育成・維持を図り、リスクへの感受性を高めていきます。

職場単位での勉強会などによる安全最優先の価値観の共有

経営層からのメッセージの発信や意見交換によるコミュニケーション

過去の自然災害やトラブル事例を風化させない活動



社長と社員との意見交換会(2020.8.7)



社長による発電所所員への訓示(2020.8.6)



過去の自然災害やトラブル事例を風化させないためのテキストによる教育

2. 安全性向上に向けたコミュニケーション活動

泊発電所の安全性向上への取り組みについて、様々な機会を捉えて広くご意見を伺い、いただいたご意見を取り込んでいくことで客観性を確保していきます。

活動の中で得られたご意見は、泊発電所の安全性向上計画の策定の際に参考とさせていただきます。



安全(確認)協定締結自治体

(北海道、岩宇4町村、後志管内16市町村)

説明
ご意見

北海道電力

ご意見
説明

学識経験者(大学関係者等)

情報提供、広報、説明
ご意見・ご質問



道民の皆さま
・オピニオン等訪問
・広報紙
・泊発電所見学会
・ホームページ

後志管内20市町村の皆さま
・説明会・懇談会(各種団体等)
・ほくてんエネルギーキャラバン※



電気事業連合会HP
社員の思い～原子力発電所の安全性向上～
「北海道電力・泊発電所」編

<https://www.fepc.or.jp/movie/>



※ほくてんエネルギーキャラバン
コミュニケーション活動のひとつとして、泊発電所の安全対策等のほか、エネルギーミックスの必要性や再生可能エネルギーの導入状況等、エネルギーに関する様々な情報をお知らせするイベントを開催しています。(2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し、開催を自粛しております。)

3. 世界最高水準の安全性を目指した活動

世界最高水準の安全性(エクセレンス)を目指すため、その指標となる様々な分野のガイドラインや良好事例を自らの活動に取り込んでいく活動を進めていきます。

エクセレンスを目指した活動の例
・アメン社キャラウェイ発電所(米国)を訪問しての技術交流(2019.10.9~2019.10.11)



エクセレンスを目指した活動の例
・異物混入防止について最善を追求

配管や弁等の点検時の開口部を塞ぐカバー(ANAX)を自社開発。
・異物混入防止のため、開口部を隙間なく簡単に塞ぐことを可能とした。
・廃棄物量低減のため、再使用できるよう、耐久性を有する多様なサイズのカバーとした。

エクセレンス事例(良好事例)の調査とその反映

エクセレンスを目指す指標となるガイドラインの社内規程への取り込み

社内外の専門家による第三者的立場からの指導・助言活動の推進



タンク開口部を塞ぐ様子

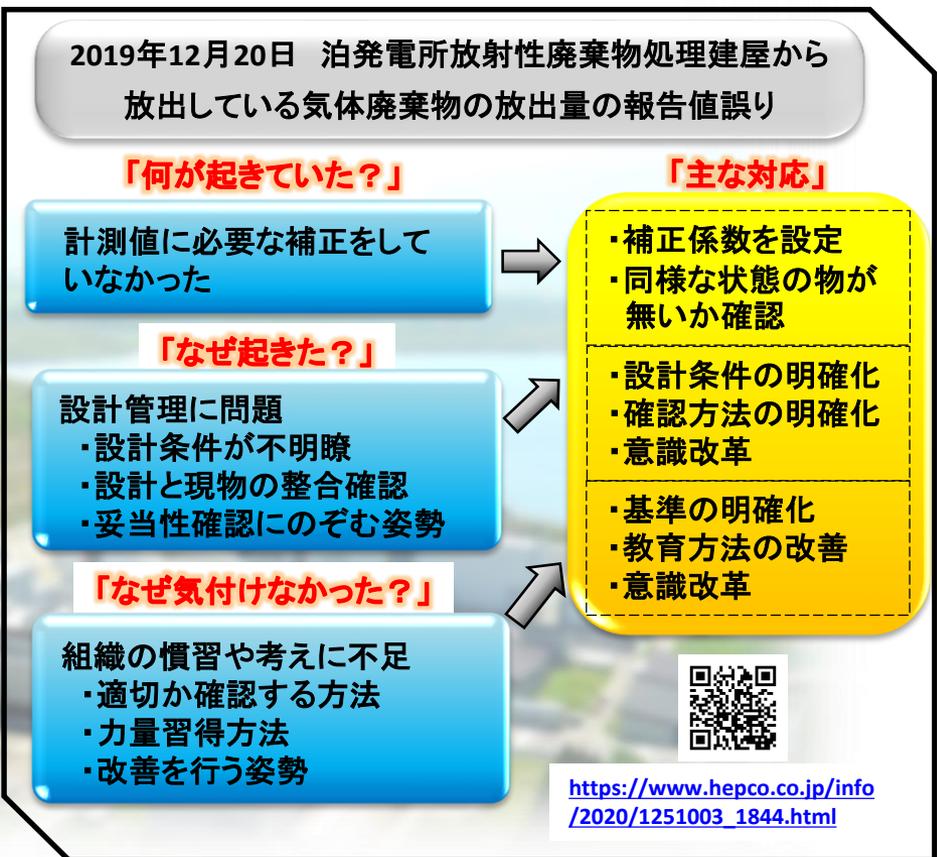
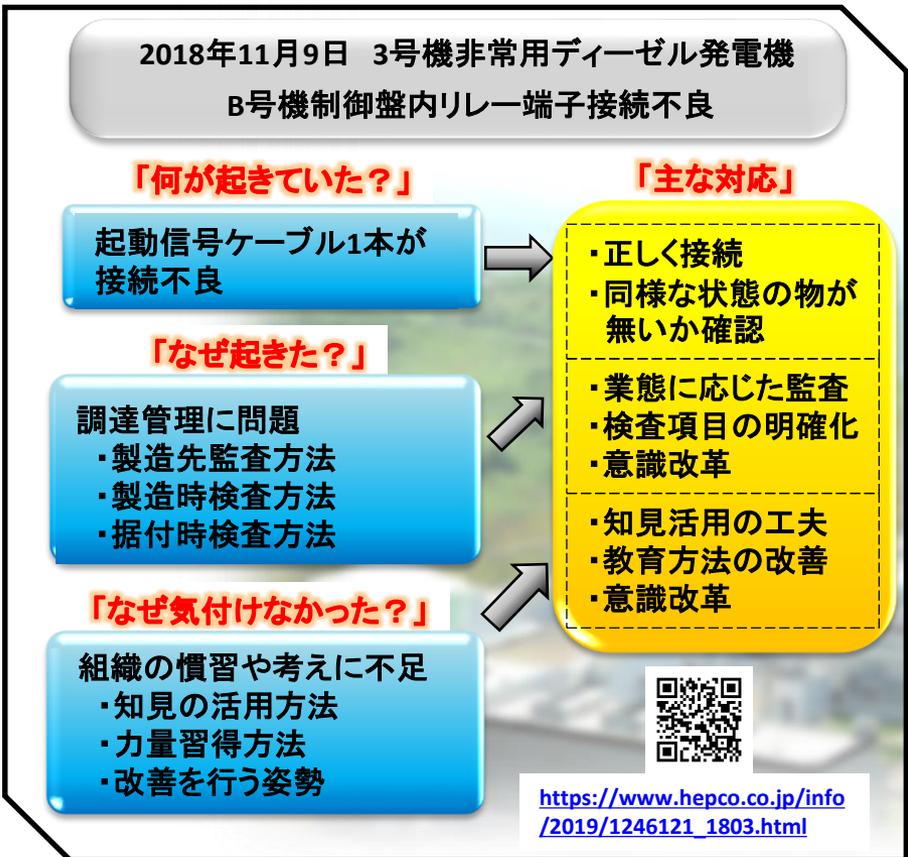


短管の両端を塞ぐ様子

4. 保安規定遵守を徹底していく活動

至近で連続して発生した保安規定違反を真摯に受け止め、再発防止対策を実施しています。

不具合は『なぜ発生したのか』、不具合が顕在化するまで『なぜ気付けなかったのか』を分析して策定した再発防止対策に着手に取り組むとともに、業務品質および安全性の向上に努め、皆さまにご安心いただける発電所を目指して信頼回復に努めてまいります。

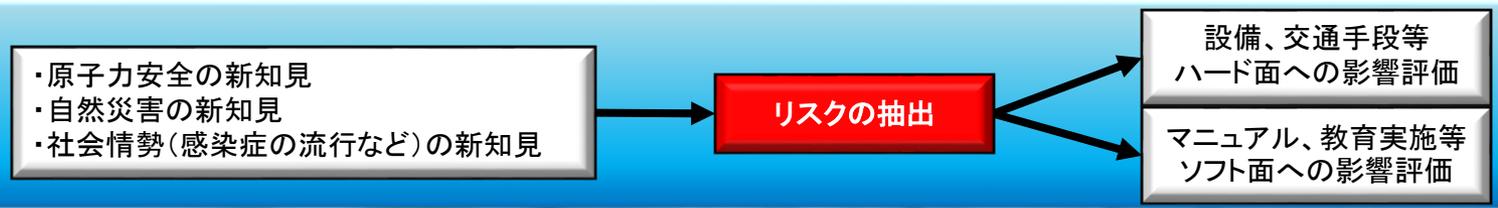


5. 様々なリスクを抽出し適切に対処する活動(1)

泊発電所の安全性を将来にわたって計画的かつ着実に維持・向上させていくため、様々な情報を利用してリスクを抽出し、リスクの顕在を防ぐ活動を進めていきます。

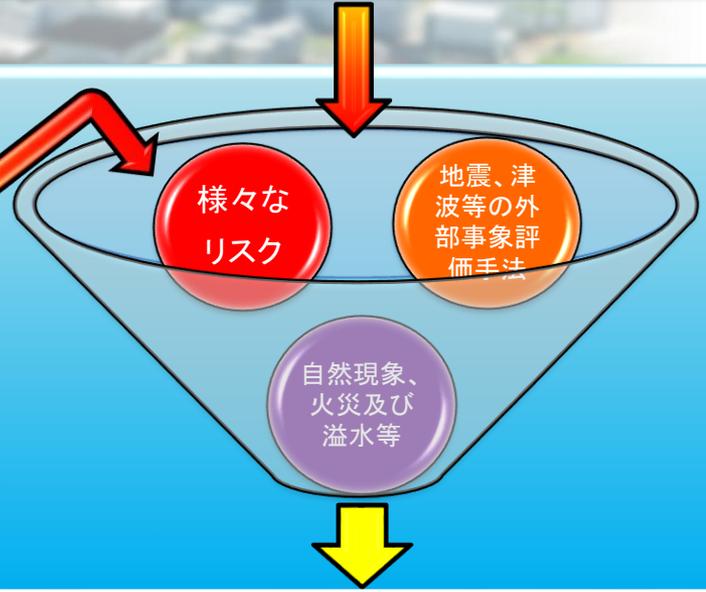
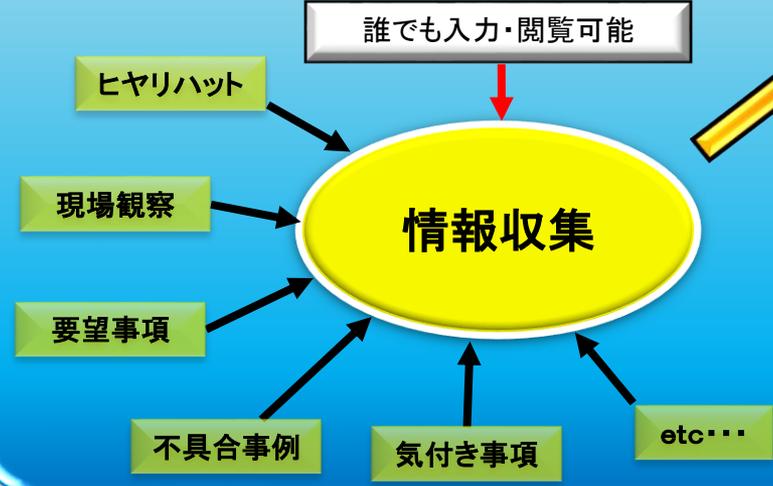
新知見情報の収集や改善措置活動の展開により「何か気付いていないことはないか」の観点で情報を収集し、様々なリスクに目を向けて対策を打ち、改善を図っています。

新知見情報の収集



改善措置活動

リスクの大小に関わらず、社員や協力会社社員が情報を情報管理システムで共有し、再発防止や改善を図ることにより安全性を向上させていきます。

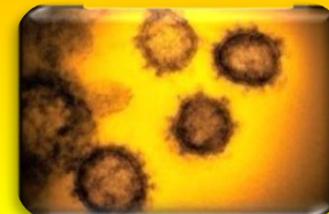


各種会議体でリスクを共有、リスクに応じた対応を決定し、改善活動を進めていきます。

5. 様々なリスクを抽出し適切に対処する活動(2)

社会情勢(感染症の流行など)

新型コロナウイルスへの感染防止対策を徹底し、発電所の安全確保の持続と従業員、家族および地域の皆さまの健康を確保するため、引き続き感染リスクの低減に向けた活動を進めていきます。
また、将来における異なった感染症にも備え、新型コロナウイルスへの対応経験を踏まえた事業継続計画の改善に取り組んでいきます。



新型コロナウイルス感染防止対策



社員呼び出し用PHSの設置および
アルコール消毒液の設置



飛沫感染防止のためのカーテンの設置

6. 訓練・教育の実施(1)

長期停止中においても訓練・教育や技術継承等により、社員の力量維持・向上を継続的に図っています。また、緊急時における対応能力の向上を図るため、対応手順および設備運用等の改善を図るとともに、より実践的な訓練・教育の実施に継続して取り組んでいきます。

重大事故を想定した訓練として原子力防災訓練を実施

原子力防災訓練
(2019年9月、11月)



(北海道主催)原子力防災訓練
(2020年2月)



住民の避難を想定した
放射性物質の汚染検査訓練



6. 訓練・教育の実施(2)

訓練

重大事故時の現場における操作手順の習熟などを
目的とした対応訓練の実施



対応訓練の一例 (シミュレータ訓練)

2017年度～2019年度
重大事故時訓練参加人数の実績
(延べ人数)



教育

若年層社員の力量向上を目的とした
火力発電所における研修



火力発電所における研修

若年層社員への
教育・技術継承



化学分析業務の教育



泊発電所の安全性向上への取り組みについて 様々なご意見等を反映していくため、 皆さまからのご意見等を お聞かせください！



ご意見はこちらまで



[https://www1.hepco.co.jp/cgi-bin/
inputform.cgi?id=safety_improvement](https://www1.hepco.co.jp/cgi-bin/inputform.cgi?id=safety_improvement)